

事業コード	01040105			政策コード	01	政策名	秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略						
事業名	咲きほこれ！あきたウーマンパワー応援事業			施策コード	04	施策名	女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現						
				指標コード	01	施策目標(指標)名	女性が活躍し続けられる職場づくりの推進						
部局名	あきた未来創造	課室名	次世代・女性活躍支援課		班名	女性活躍・両立支援班		(tel)	1555	担当課長名	六澤 恵理子	担当者名	近藤 真也

評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容

事業年度

令和03年度

～

令和05年度

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
本県の民間事業所の女性管理職（課長相当職以上）の割合は、近年は横ばいで推移しており、企業における女性の活躍は十分に進んでいない状況にある。この要因としては、令和元年度秋田県男女の意識と生活実態調査において女性管理職が少ない理由を県民に聴いたところ、「男性中心の職場慣行があるから」の割合が最も高く、次いで「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」となっており、固定的な性別役割分担意識が見られる一方で、「女性自身が管理的部門に就くことに消極的だから」の割合が3番目に高く、女性自身の意識にも課題が見られることから、こうした課題に対応した事業を実施する必要がある。

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）
官民一体で女性自身の意識改革を図りながら、県内で働く女性のネットワークを構築し、女性の登用促進を図る。

(重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望

2．住民ニーズの状況
ニーズを把握した対象
☐ 受益者 ☒ 一般県民 （時期： R03 年 09 月）
ニーズの把握の方法
☐ アンケート調査 ☐ 各種委員会及び審議会 ☐ ヒアリング ☐ インターネット
☒ その他の手法 （具体的に 若年女性の意見交換会 ）
ニーズの具体的内容

自ら意思決定の場に参画しようとするには、管理職に挑戦したいと思えるロールモデルとなる女性が身近にいないことや、そうした目標を共有できる女性同士のネットワークがないことなどにより、どのように取り組むべきか分からず不安があり、自信が持てないという意見がある。

4．目的達成のための方法
事業の実施主体 県
事業の対象者・団体 県内企業、県民、参加者
達成のための手段

官民一体となり、各ライフステージに応じWe bを活用した定期的な相互研鑽できる場として、ロールモデルとなる女性の経営者や管理職のゲストスピーカーによる講演のほか、参加者同士によるワークショップ等を実施する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
これまでも女性が学び、つながるための交流会を実施してきたところであるが、官民一体となり継続した取組を進めることにより、組織を越えたロールモデルやメンターの育成のほか、切磋琢磨により自立的・能動的に活躍できる人材の育成を図ることが期待できる。

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5．事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位	事業内記	左 の 説 明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
01	官民一体による女性の意識改革推進事業	県内で働く若手女性や高校生・大学生を対象として、官民一体で企画・運営するラウンドテーブルをWe bを活用して開催する。	1,085	1,910	1,910	0	0	0	4,905
財源内記			1,085	1,910	1,910	0	0	0	4,905
国 庫 補 助 金			0	0	0	0	0	0	0
県 道 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他			0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源			1,085	1,910	1,910	0	0	0	4,905

